

News Release



この資料は BASF 本社(ドイツ)が 2017 年 12 月 21 日に発表した英語のプレスリリースを BASF ジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。

BASF、取締役会会長交代のお知らせ

2018 年 1 月 11 日

- マーティン・ブルーダーミュラーが、クルト・ボックの後任として 2018 年 5 月 4 日に取締役会会長に就任
- クルト・ボックは 2020 年の年次株主総会にて、次期監査役会会長に立候補予定
- ハンス - ウルリッヒ・エンゲルは最高財務責任者に留任し、新たに取締役会副会長に就任

BASF(本社:ドイツ ルートヴィヒスハーフェン)の監査役会は 2017 年 12 月 21 日、取締役人事を発表しました。現在 BASF 取締役会副会長を務める Dr. マーティン・ブルーダーミュラー(56 歳)が、2018 年 5 月 4 日に開催される年次株主総会の終了後、Dr. クルト・ボック(59 歳)の後任として BASF 取締役会会長に就任します。ボックは、2003 年に取締役会のメンバーとなり、2011 年からは取締役会会長を務めてきました。今回の人事異動により、退任後 2 年間の法定冷却期間を経て、2020 年に BASF 監査役会の会長に選出されることが可能となります。

取締役会副会長には、Dr. ハンス - ウルリッヒ・エンゲル(58 歳)が新たに就任します。また、監査役会はブルーダーミュラー、エンゲル、サンジブ・ガンジー(51 歳)の取締役会への任命期間を 5 年延長して、2023 年の年次株主総会までとしました。今回の人事異動に伴い、2018 年 5 月をもって取締役会メンバーの数が 8 名から 7 名になります。

BASF の監査役会会長を務める Dr. ユルゲン・ハムブレヒト(71 歳)は、次のように述べています。「2018 年の人事異動は、BASF の監査役会と

取締役会の長期後継者育成プランの一環として行われます。この7年間、クルト・ボックは BASF の企業としての方向付けとさらなる発展に貢献してきました。今後も BASF が彼の知識と経験から恩恵を受けられるよう、私たちはボックに、2020年の監査役会の選挙に立候補するよう依頼しました。そして今回も、BASF 社内から非常に有能で経験豊富な後継者として、マーティン・ブルーダーミュラーを任命しました。」

ブルーダーミュラーは 2006 年に取締役会のメンバーとなり、2011 年に副会長に就任しました。現在、BASF の最高技術責任者(CTO)も務めています。これまでに、香港を拠点にアジア太平洋地域を統括する責任者としても活躍してきました。

取締役会副会長に就任するエンゲルは、2008 年から取締役会のメンバーとなり、ニュージャージー州フローラムパークにある、北米地域を統括する責任者として活躍してきました。2011 年以降は BASF の最高財務責任者(CFO)も務めています。

職務経歴書および写真は、以下のリンクからご覧いただけます。(英語)

<https://www.basf.com/en/company/about-us/management/board-of-executive-directors.html>

※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

■BASF について

BASF(ビーエーエスエフ)は世界をリードする化学会社(本社:ドイツ ルートヴィッヒスハーフェン)で、持続可能な将来のために、化学でいい関係をつくれます。また、経済的な成功、環境保護、そして社会的責任を同時に実現しています。BASF では、約 114,000 人の社員一人ひとりがほぼすべての産業、ほぼすべての国においてお客様の成功に貢献できるよう努めています。製品ポートフォリオは化学品、高性能製品、機能性材料、農業関連製品、石油・ガスの 5 つの部門から成ります。2016 年、BASF は約 580 億ユーロの売上高を達成しました。BASF の詳しい情報は、www.basf.com(英語)、newsroom.basf.com(英語)、www.basf.com/jp(日本語)をご覧ください。